

草双紙年代記

207
90



44 双紙年代記

完

207
90

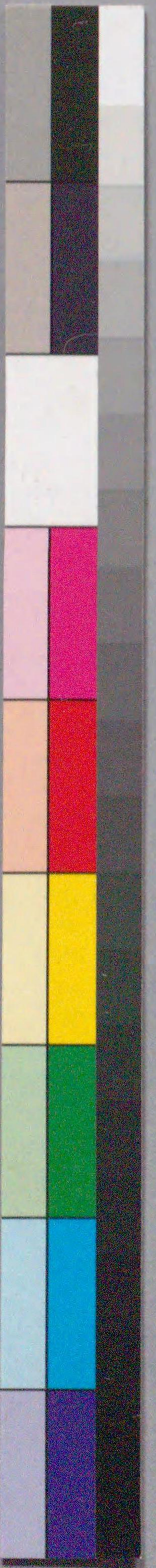
三
癸卯

新

岸田社方
志
上
當世
南

新
と大
通
合
鏡
乃
言
り
の
書
す
見
る
行
人
年
経
ぬ
教
育
早
見
よ
と
出
校
子
の
志
上
當
世
後
者
身
振
起
る
色
に
是
に
南
無
阿
彌
陀
佛
と
書
き
し
は
智
慧
の
地
也
と
言
ふ
乃
一
卷
志
り
お
ひ
て
能
く
是
を
考
へ
何
の
御
茶
も
お
ぬ
り
別
に
行
可
う
ら
ん

新



公の流しと書かれしけき通人より
 笑ひて指さして通人より
 西の通人の外に人覺ては
 志しむる所は
 通人より

天明二年

初春

南松笑

岸田人



岸田杜芳戯作

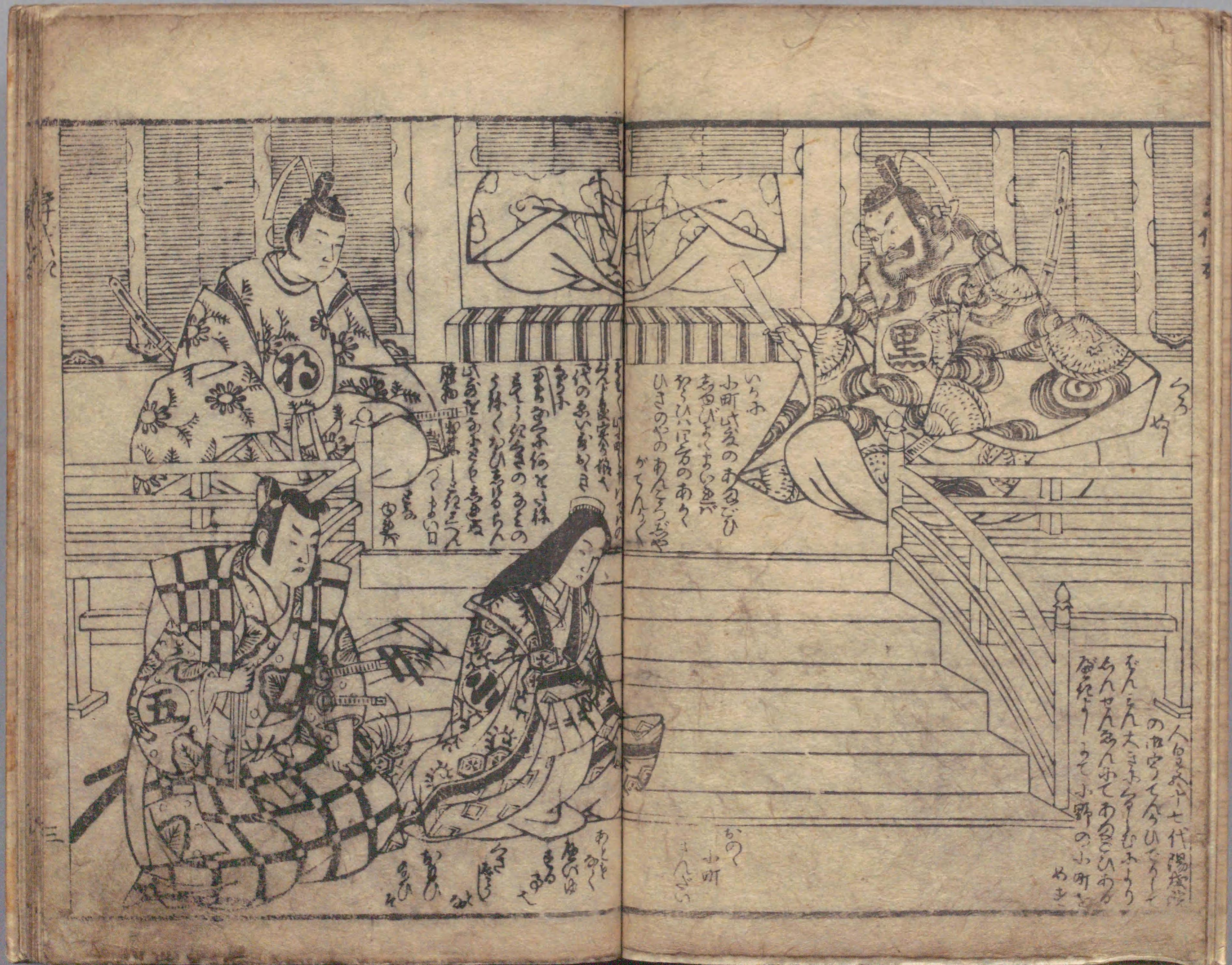
をいせしとく

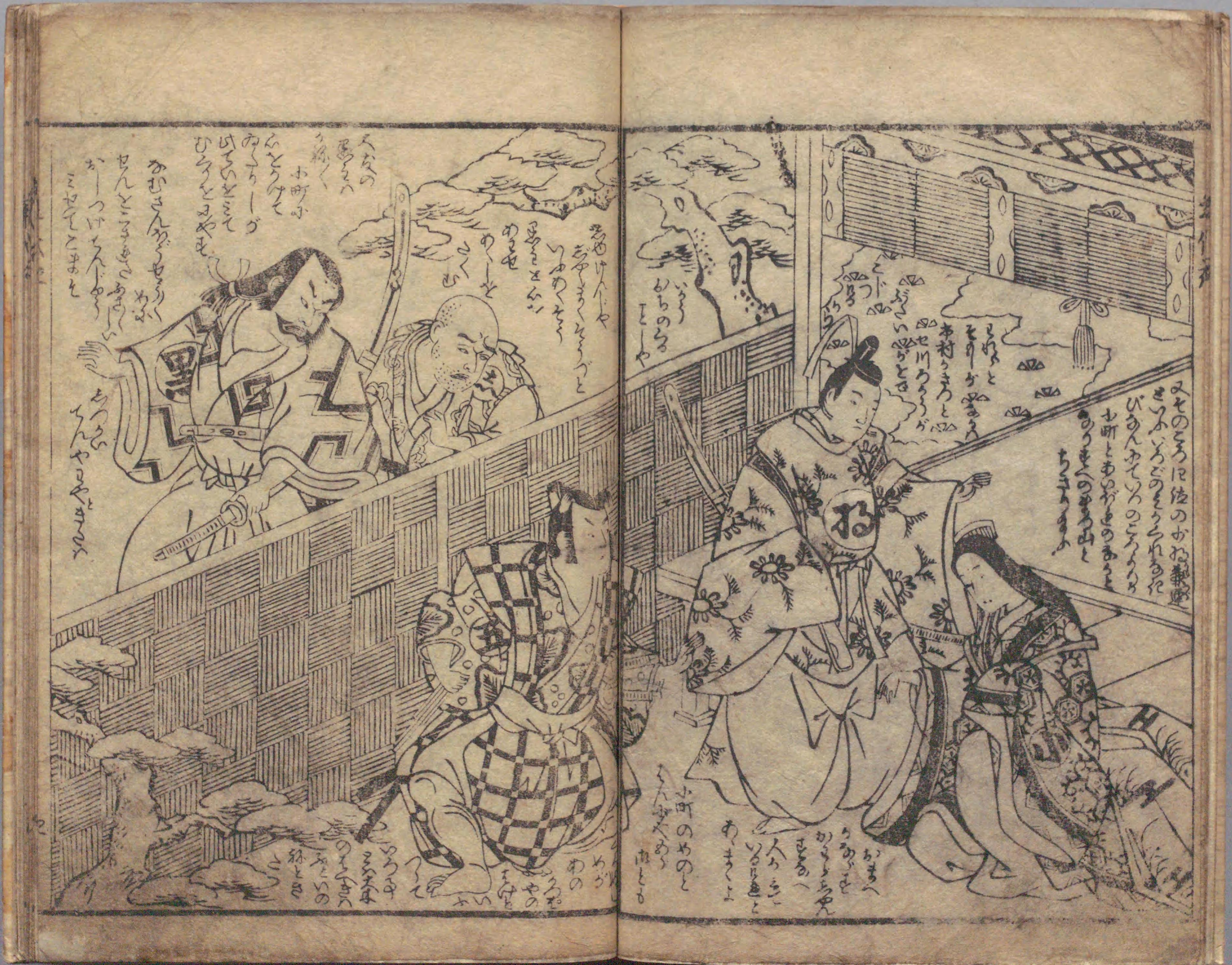
番

くひれ次

柿暦











茂多の海を
 加多丸屋
 小左のとりかひのめ
 小野
 藤子
 つとや若
 あるは後
 某の更の
 介子てぬる子
 おく小町おあひ
 大蛇おとろく

まわく
 こちんおとろ
 ちんおとろ
 おお小町おちん
 けいおとろおちん
 小左おとろおちん
 ちんおとろおちん

ヤレク
 小左の
 けい
 ちん



おちんおとろおちん
 一海んちんおとろおちん
 ちんおとろおちん

おびが文あんと
 おちんおとろおちん

ちんおとろおちん
 ちんおとろおちん









207
90



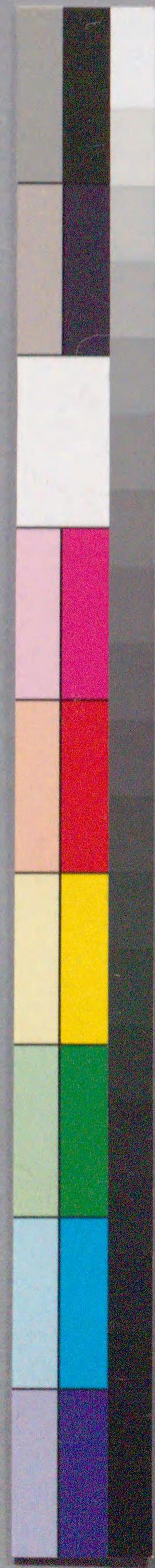
花の

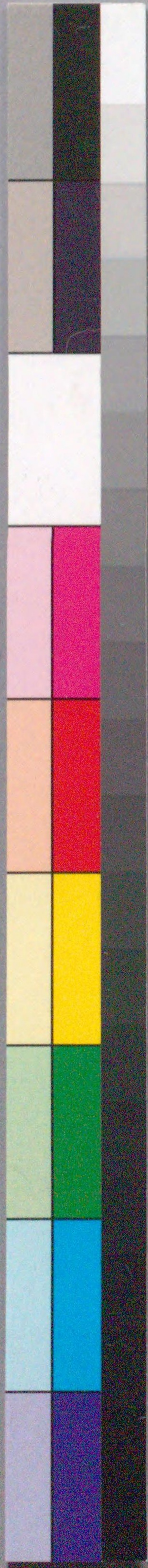
坂元 芝神明前 東京 八丁

岸田桂芳 北尾政演 戲作



207
90





国立国会図書館 草双紙年代記 : 2巻 207-90



ガラス使用

